

個人質問

28人の議員が行った質問の中から、いくつかを取り上げて要旨を掲載

防災・まちづくり

防犯灯のLED化
新制度の補助が好評

問 町内会が管理している防犯灯のLED化の取り換え状況と周知徹底は。また、防犯灯の新設補助に対して設置及び申請状況は。

答 平成24年8月末の調査では、23年10月の新制度後に17,218灯がLED灯に取り換え済みで順調に進んでいる。今後も申請漏れがないよう各町内会あてに通知するなど周知を図っていく。

また、23年度の新設は142町内会で524灯、24年度は8月末で741灯が設置されている。1灯の設置から補助されるなど、町内会に使い勝手のよい制度のため、非常に好評で申請件数は多数にのぼっている。

対応部署連携による
雨水の排水対策

問 集中豪雨でたびたび発生する市道の浸水被害について、複数の対応部署（農林、都市整備、下水道）が連携を図るべきでは。

答 対応部署の連携は、安全・安心な都市基盤づくりという政策目標において重要である。今後とも下水道の都市排水事業、道路・河川関連事業、農林関連事業、おのおのがその役割を適切に分担するため、^{※12}雨水排水対策マトリックス班の活用によって、相互に補完しあいながら、総合的な対策の実現を図りたい。

備蓄土・土のう袋
町内会配備の充実図る

問 全町内会を対象にした備蓄土・土のう袋配布事業の詳細は。

答 平成16年の台風・高潮被害を受け、要望のあった町内会へ備蓄土・土のう袋の配布を始めた。また、23年の台風12号の大規模な浸水被害を受け、市内すべての町内会に呼びかけを行い充実を図った。

1町内会への配布は備蓄土2立方メートル、土のう袋200枚を上限とし、町内会が指定した公園等に80カ所、その他の場所

に279カ所配布しており、町内会で管理をしてもらっている。

岡山操車場跡地に
整備予定の総合公園

問 ①現状の暫定広場はサッカー、ソフトボールに何面使用できるのか。②基本計画（素案）の多目的広場では何面になるか。大きな大会の開催は可能か。③使用している団体に説明・相談は行っているのか。

答 ①サッカー場3面、またはソフトボール場2面の確保が可能。②サッカー場1面、またはソフトボール場1面の確保が可能で、大規模なスポーツ大会の開催は、市内のほかの施設と連携し、運営上の工夫をすることで可能と考えている。③現在は行っていないが、今後パブリックコメントや説明会により、広く市民の意見を聞く予定である。

駅南駐車場に観光バス乗降場
を増設

問 旧林原駐車場利用者への今後のサポート体制は。

答 旧林原駐車場には大型車の駐車枠が22台分あり、観光バスの集合場所として利用されていた。岡山県バス協会から、市営で唯一バスの駐車ができる駅南駐車場のバス駐車枠の増設要望を受けて改修工事を行い、24年3月よりバスの駐車枠を8台から17台に増やした。

現在、岡山駅周辺の観光バス乗降場は、駅南駐車場の17台と駅西口広場に2台あり、効率的に使用している。さらなる乗降場の確保に向けて、バス協会がイオンモール社と協議を始めたと聞いている。



バス駐車枠を増設した市営駅南駐車場

用語解説 ※12 雨水排水対策マトリックス班

経済、消防、都市整備、下水道の4局が合同で、集中豪雨による浸水被害防止など雨水の排水対策や事業計画の策定をする組織

暮らし・保健福祉・医療



消費者被害を減らすための出前講座

投資の消費生活相談 5 倍増 60歳以上が約 8 割

問 消費生活相談はここ数年若干減少傾向にあるものの、消費生活の変化に伴い相談内容が変わってきている。①本市での被害傾向は。②高齢者向け啓発の取り組み状況は。

答 ①相談件数、被害額は横ばいで、未公開株などの投資に関する相談が平成23年度は件数・金額ともに22年度の5倍に急増し、60歳以上の相談者が約8割を占めるなど高齢者が狙われている。②出前講座が最も効果的と考え、23年度から広報活動を拡充した結果、22年度は38回、971名の参加だったが、23年度は71回、2,358名、24年度はすでに90件の申し込みを受け、8月末で48回、1,124名の参加があった。

市税等のコンビニ収納

問 年中無休、24時間体制での納付が可能なコンビニ収納の導入について、本市の考えは。

答 国民健康保険料は平成26年度中、市税は28年度中の実施をめどに作業を進めている。

その他の公金収納についても検討しているが、システムの改

修経費が必要になること等もあり、システムの更新時期や先行する国民健康保険料の状況等により総合的に検討する。

歯周疾患検診の受診率向上で 医療費等の抑制を

問 歯と健康について市民の認識を高め、健康で長生きすることが医療費等の抑制にもつながる。①歯周疾患検診の受診率向上の手だては。②市民税非課税世帯は申請手続きなしで無料受診ができないか。

答 ①「けんしんガイド」等の全戸配布、ホームページ等での啓発に加え、妊娠届出時や幼児健診、おやくクラブなどさまざまな機会をとらえてチラシの配布等を行っている。②市民税非課税世帯には無料券を交付しているが、本人の意思と所得状況を確認する必要があるため申請してもらっている。申請は保健所健康づくり課・各保健センター・区役所・地域センター・支所のほか電話でも受け付けている。

救急体制の迅速化

問 救急搬送の所要時間を短縮するための医療機関との連携強化策は。

答 救急のたらい回しが全国的

な社会問題となったことから、救急搬送の迅速化、円滑化を図るため、平成22年度に救急課を新設し、救急告示医療施設等との連携の緊密化に努めている。

また、2救命センターと23救急告示病院などの協力を得て、25年1月に本市で全国救急隊員シンポジウムを開催することにより、救急隊員の一層の資質向上と医療機関との連携強化につなげていきたい。

救急車の上手な利用

問 ①救急車の上手な依頼・利用の仕方は。②119番応答時に依頼者の状況を的確に把握し、救急車が必要か、いち早く判断して、市から病院等に依頼することは可能か。

答 ①落ち着いて住所、氏名、近くの目標のほか、傷病者の症状を正確に伝えることが重要であるため、応急手当講習などで救急を理解してもらうよう努めている。②救急車以外で病院を受診する場合は、24時間利用可能な市内救急病院案内で受診希望科目に応じた病院を紹介し、本人から直接病院に症状を連絡してもらっている。

Web119番システム

問 4月から始まったWeb119番システムは、救助や避難活動への活用が期待される。登録数や今後の拡充策は。

答 Web119番通報は事前に登録すれば、音声言語での通報が困難な聴覚障がい者、難聴者が単独で携帯電話のインターネット機能を利用し、通報を行い消防車、救急車を要請することができるもので、現在16名の登録がある。

引き続き「障害者のしおり」への掲載のほか、関係団体と連携して登録を促したい。

用語解説 ※13 救急告示医療施設

厚生労働省の救急病院等を定める省令に基づいて都道府県知事が認定し、救急医療の経験がある医師が常に診療でき、救急医療に必要な設備がある医療機関

※注 岡山市内救急病院案内
電話086-231-0119

教育・経済

岡山市子ども読書推進計画に一定の成果

問 進ちょく状況と成果は。

答 絵本の読み聞かせ体験を拡充し、移動図書館を幼稚園、保育園に重点的に巡回させ子どもの読書環境を整えている。また、学区ごとの読み聞かせボランティアの活動内容等を掲載したマップや、推薦する絵本のリストを配布するなど、積極的な情報発信に努めている。

平成20年度と23年度の比較で、市立図書館全体の子ども読書活動関連行事は、実施回数が520回から600回に、参加者数は約8,800人から約10,500人に増えた。

また児童書も、保有冊数が37万冊から40万冊に、貸出冊数も約8万冊増の約115万冊に増加しており一定の成果が上がっている。

少人数指導と35人以下学級

問 ①市立小・中学校の、少人数指導、35人以下学級の選択状況は。②現時点で市立小・中学校すべてを35人以下学級とした場合の、必要教員数と人件費は。

答 ①小学校で少人数指導を選んだのは15校48学年で、35人

以下学級を選んだのは10校11学年である。中学校で少人数指導を選んだのは11校16学年で、35人以下学級を選んだのは12校20学年である。②必要になる教員数は、小学校72人、中学校20人で、すべてを教諭とした場合の人員費は、年間約8億円と見込まれる。

農業振興ビジョンの進ちょく状況

問 岡山市農業振興ビジョンに掲げた重点施策の現状は。

答 地産地消に関する4項目の数値目標のうち、3項目が目標を上回っており、地産地消に関する市民の意識が高まっているものと考えている。

米粉の生産量については目標値を下回っているため、改善策等を検討していく。ブランド化の推進における桃とブドウの出荷量も目標値を下回っており、生産を支援していくことが課題となっている。

担い手の確保・育成では、農業サポーター登録者や家族経営協定は増えている

が、新規就農者数と認定農業者数は目標値を下回っており、国の新規事業等を活用しながら増加を図りたい。

牧山クラインガルテンの運営課題と委託条件

問 ①運営の課題と解決策は。

②委託の条件は。

答 ①開設後16年が経過し、施設の老朽化や利用者数の伸び悩み等が課題と考えている。これまでも不具合の生じた施設については、順次修繕を行っている。また、管理経費の縮減や土地賃借料の見直し等により収支の改善に努めるとともに、より利用しやすい施設となるよう、ハード、ソフト両面からの改善を進めている。②栽培指導等に必要な農業に関する専門的な技術・経験、水の管理や災害時等の対応、地域振興等の観点から選定しており、地元のJAに委託している。



開設後16年が経過した牧山クラインガルテン

市 議 会 日 誌

【7月】

- 13日 総務委員会
- 23日 防災・危機管理等調査特別委員会、議会運営委員会
- 27日 議会改革等推進会議

【8月】

- 7日 議会改革等推進会議
- 8日 ワークライフバランス調査特別委員会
- 9日 経済委員会
- 10日 議会運営委員会
- 20日 議会運営委員会
- 24日 8月臨時市議会

- 24日 保健福祉委員会
- 27日 議会改革等推進会議
- 30日 議会運営委員会、環境消防水道委員会
- 31日 保健福祉、環境消防水道、経済、建設委員会及び同協議会

【9月】

- 3日 総務委員会及び同協議会、市民文教委員会
- 4日 9月定例市議会開会日 市議会協議会
- 10日～12日 6会派による代表質問
- 13日～20日 28人の議員による個人質問

- 20日 議会運営委員会 一般会計決算等審査、特別会計決算審査、企業会計決算等審査特別委員会
- 24日 総務、保健福祉、環境消防水道、経済、建設、市民文教委員会

【10月】

- 25日 市民文教委員会
- 26日 議会運営委員会
- 27日 9月定例市議会最終日
- 12日 議会運営委員会

用語解説 ※14 家族経営協定

家族農業経営に携わる各世帯員が、意欲とやりがいを持ち、経営に参画できる魅力的な農業経営を目指し、経営方針や役割分担などについて、家族間の十分な話し合いに基づき、取り決めるもの

※15 認定農業者

自主的に農業経営改善計画を作成し、市町村から認定を受けた農業者。地域農業の担い手として、農地利用・資金・税制面などの支援を受けることができる